



担当=DZHフィナンシャルリサーチ・石原敬子

Refinitiv(リフィニティブ)はロンドン証券取引所グループ(LSEG)傘下の金融情報提供会社です

知りたい
投信 なるほど
リップパー

4月までの資金動向

政策見直し日銀はETF買わず

2021年4月は、日本銀行による上場投資信託(ETF)の買い付けが全くありませんでした。3月の金融政策決定会合で、ETFの買い入れを見直したからです。にもかかわらず、日銀以外の投資家によって、3月までと同じ規模の資金がETFに集まりました。

今年1~4月の国内投資信託市場の資金動向は、ETF以外の公募株式オープン投信が、リップパーの推計で累計2.6兆円の純流入となりまし

た。ETFを含めると累計4.4兆円の純流入です。昨年と同じ時期は4.6兆円の純流入で、ほぼ同じ水準ですが、ETFと一般の投信との内訳が、ちょうど逆の割合でした=左下グラフ。

昨年はコロナ・ショックに見舞われ、日銀による大規模なETFへの資金流入が目立ちました。一方で今年の日銀は、冒頭でお伝えしたETF買いがゼロだった4月のみならず、1~3月の買い付けも昨年より大幅に減少。その代

わり、ETF以外の株式オープン投信が昨年の約2倍の資金流入となっています。

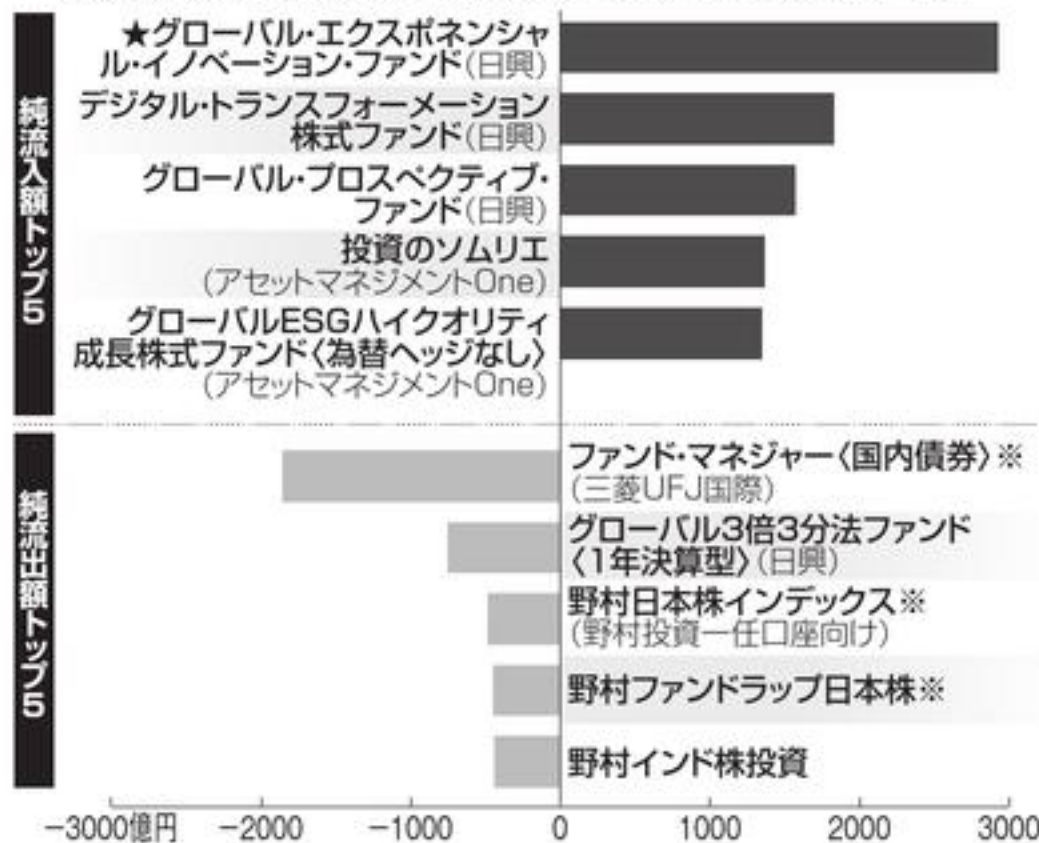
個別の投信の純流出入額上位は右下グラフの通りです。4月に新しく設定された、「グローバル・エクスポネンシャル・イノベーション・ファンド」が堂々の首位。1カ月に集めた資金は、純流入額

2位以下の投信の約2倍です。純流入額上位5位までに、日興アセットマネジメントとアセットマネジメントOneの2社の投信が占めたことに注目です。

純流出上位の銘柄は、これまでと同じ傾向で、ラップ専用口座の投信からまとまった資金が流出しています。

資金純流出入額ランキング(2021年1~4月)

上場投資信託(ETF)を除く株式オープン投信について設定額から解約・償還額を差し引いた。★は2021年新設。※はラップ口座専用。リップパー推計



ETFへの資金流入額が減り、一般の投信に資金集まる

